



# すこやかに長寿を育む Yawaragi

Koshinkai Public relations



<http://www.k-seizanso.jp>

「LIFEを導入して1年が経ちました」

新入職員紹介

ラポール青山荘 EPISODE 2

開園記念式典

もくじ



今年も見事な美しさ!!  
青山荘の桜

## ～LIFEを導入して1年が経ちました～

### 科学的介護の必要性



令和3年4月からスタートした科学的介護情報システム「LIFE」へのデータ提出を開始して、1年が経ちます。LIFEは今までの加算と違い、国へのデータ提出を行って初めて、取得できる体制が整うこととなります。従来までの介護報酬算定方法は1回当たりの算定でありましたが、LIFEは成果報酬型の算定となります。1年間を通じてデータ提出することは職員にとっては初めてのことでした。今回は、令和3年の4月～12月までのフィードバックが示されました。特別養護老人ホーム青山荘のLIFEへの取り組みの成果をお知らせしたいと思います。

### 誤嚥性肺炎の発症・既往の比較 特別養護老人ホーム青山荘

#### ①誤嚥性肺炎の発症・既往の比較

誤嚥性肺炎の発症・既往歴	全国	青山荘
なし	91%	86%
あり	9%	14%

青山荘に入所されてから、誤嚥性肺炎を発症された方だけではなく、入所に発症の既往がある方もこの数字には含まれていますが、全国と比較して青山荘の利用者は誤嚥性肺炎の既往歴がある方が多くいらっしゃいます。

嚥下機能の低下から繰り返し発症される方も少なくはありません。日頃の口腔ケア、口腔体操、食事の際のポジショニング等、予防に資する取り組みを継続していく必要があることがこの結果から伺えます。

#### ②褥瘡発生と日常生活自立度の関係性について

褥瘡発生の有無	全国		青山荘		
	全国	青山荘	障害高齢者日常生活自立度	全国	青山荘
なし	96%	96%	C	22%	36.2%
あり	4%	4%			

褥瘡発生の状況は全国平均と比較して同等となっています。しかし、障害高齢者の日常生活自立度のデータから、青山荘の利用者は自力での寝返りや起き上がりが難しいCランク以上の利用者の割合が高いことが分かります。これは、ベッド上で思うように動けない方、つまり「褥瘡の発生リスクが高い方」の割合が高いが、全国と同等の褥瘡発生状況ということは、青山荘の褥瘡マネジメント(ポジショニング、スキンケア、栄養ケア)が適切に行われているからだと考えます。職員の皆さんが褥瘡予防に向けた取り組みを日々考えながらケアに当たっているからこそその数字だと思います。

※障害高齢者日常生活自立度とは、高齢者の日常生活自立度(寝たきり度)の程度を表すものです。ランクはJ～Cまであり、J:生活自立、A:準寝たきり、B:寝たきりを表します。

〒893-2302

鹿児島県肝属郡錦江町  
城元3724-1

T E L (0994)22-3388

F A X (0994)22-3355

✉ko-sin641bluem@rapid.ocn.ne.jp

<http://www.k-seizanso.jp>

#### 錦江町

- 特別養護老人ホーム青山荘
- 青山荘短期入所生活介護事業所
- グループホーム青山荘  
〒893-2302  
鹿児島県肝属郡錦江町城元3724-1  
T E L (0994)22-3388  
F A X (0994)22-3355

- 養護老人ホーム大根占錦江園
- 青山荘指定居宅介護支援事業所
- 在宅介護支援センター青山荘
- デイサービスセンターまつさき  
〒893-2303  
鹿児島県肝属郡錦江町馬場1134-1  
T E L (0994)22-1126  
F A X (0994)22-0596

#### 鹿屋市

- グループホームとも
- 有料老人ホームとも
- デイサービスセンターとも  
〒893-0037  
鹿児島県鹿屋市田崎町1307-1  
T E L (0994)42-6860  
F A X (0994)42-6861

- 有料老人ホーム木楽
- デイサービスセンター木楽
- 居宅介護支援センター木楽
- 地域交流センターアゴラ  
〒893-0014  
鹿児島県鹿屋市寿3丁目12-26  
T E L (0994)45-6971  
F A X (0994)45-6972

- 有料老人ホームひなたぼっこ
- デイサービスセンターひなたぼっこ  
〒893-0012  
鹿児島県鹿屋市王子町3975-5  
T E L (0994)45-4665  
F A X (0994)41-0365





令和4年4月1日、社会福祉法人幸伸会開園記念式典が執り行われしました。式典では、永年勤続者の表彰もされました。ここで紹介をしたいと思います。

《20年勤続者》  
段 昌江

(所属：特別養護老人ホーム青山荘)  
段さんは、幸伸会が初めて地域密着型施設を始めたグループホーム青山荘のオープニングメンバーとして入職をして下さいました。現在は、特養の介護職員として活躍してくれています。段さんといえば、年齢不詳!! 毎年、段さんのサンタクロース姿に職員一同「可愛い」の連呼。まさに幸伸会のアイドルです。また、手芸や外出など、施設での生活に色を付ける活動に積極的に取り組んでくれています。

上 園 アサ子

(所属：特別養護老人ホーム青山荘)  
66歳で幸伸会に入職して、御年77歳!!青山荘は、錦江町の山の方に在り、冬はもちろんのこと春先でも、暖房器具は欠かせません。職員も季節に合わせて、半袖・長袖と制服を使い分けていますが、上園さんは1年中なんと半袖!!冬でも汗をかきながら働かれています。幸伸会最年長の上園さんが幸伸会一、元氣な職員です。また、心配りも幸伸会一です。私たちは、上園さんの偉大な背中をずっと追いつけていかなければなりません。

福 元 陽 介

(所属：グループホームとも)  
常に利用者目線、優しい声かけは模範となる福元さん。現在はグループホームとも管理者として活躍をされています。理事長は、永年勤続者のリストを拝見されたとき、「彼も10年か。きばったな」と小声で話されていました。福元さんは、どの管理者よ

《15年勤続者》  
松 元 辰 徳

(所属：特別養護老人ホーム青山荘)  
松元リーダーは、異業種から幸伸会へ来られました。未経験からのスタートでしたが現在は、ユニットリーダーとして活躍しております。松元リーダーといえば、元氣!!そして何よりも素敵な声!!その声は、避難訓練の時に特に目立ちます。誰よりも的確な動きで、またみんなに聞こえる大きな声で指示を行います。その姿を初めて見た職員は、「格好いい」の一言。今や憧れの先輩職員の人となっております。



りも速いスピードで管理者となりました。若くて管理者となったため、多くの苦労もあったと思いますが、どんなことがあっても、前を向いて進んでいる職員の一入です。

森 田 陽 子

(所属：デイサービスセンターとも)  
デイサービスセンターとしてのオーピングメンバーとして幸伸会の扉をたたいてくれました。丁寧な声かけと柔らかい表情が印象的な森田さんですが、実は行動派でもあります。東日本大震災の際は、自家用車に詰めるだけの荷物を積んで、ボランティア活動に参加した経験もあります。また、勉強家でもあり今年には認知症について学びたいと話していました。



永 井 秋 菜

(所属：居宅介護支援センター木楽)  
特養から始まりグループホームとも、現在は居宅介護支援センター木楽と全く異なるサービスを提供している事業所の経験をしている職員の一人です。幸伸会には新卒で入職され、その後ご結婚とライフスタイルにも大きな変化がありました。在宅ワークを取り入れたきっかけとなったのは永井さんでした。多種多様な働き方が混在する中、その時々に応じた働き方を考えるきっかけをくれた職員です。

《10年勤続者》  
眞 邊 英 子

(所属：特別養護老人ホーム青山荘)  
職員として入職し、その後パートそしてまた職員、現在は特養の生活相談員として活躍してくれています。特養は他の事業所より規模が大きく、利用者様、職員も多いです。何

福 元 希 望

出身校：鹿児島女子短期大学  
趣 味：音楽鑑賞  
目 標：利用者様に合った介助方法を学び身につけること  
まだ覚えることに時間がかかっていますが、焦らずに利用者様を安心・安全に支援ができるように頑張ります。また、利用者様が不安な気持ちにならない介助方法を学んでいきたいです。

新 入 職 員 紹 介



末 次 響

出身校：鹿児島国際大学  
趣 味：マンガを読むこと  
目 標：ユニットリーダーのような心遣い・心配りができ、利用者様に笑顔になってもらえる介護職員になること!!  
メンタル面が弱いの短所ですが、精一杯頑張ろうという気持ちは他の同学年には負けません!!介護に対してスキルが足りませんが、基礎の基礎を学ぶような段階ですので、一つひとつ吸収して安心・安全の援助を心がけて取り組んでいきたいです。

後 迫 眞 綾

神奈川県からUターン 趣 味：音楽を聴くこと  
目 標：地域の方々が生活をする場を安心、安全に過ごしていただけるよう個別性を尊重しながら関わっていくこと  
まだ不慣れな点も多く、スタッフの方々や利用者の方々に、ご心配をお掛けしてしまうことがあるかもしれませんが、これまでの経験を活かしながら自分らしく精一杯頑張りますのでよろしくお祈りします。



ラポール青山荘 EPIISODE 2

今年の1月に地鎮祭を行ってから、約3か月が過ぎました。更地だったのが、鉄骨がみるみる建ちはじめ、ラポール青山荘の大きさが分かってきました。想像をはるかに超える大きさで、問い合わせのお電話では「大きな建物ができますね。楽しみですね。」と嬉しいお言葉を頂いております。私個人としては、日に日に大きくなる建物の様子を見るたびに、完成に近づく喜びと、ドキドキが混在しています。次回夏のyawaragiでは、完成間近のラポール青山荘の様子をお伝えできると思います。どうぞ期待!!

